

安心・安全な毎日のために

庄原消防署 ☎0824・72・9911
東城消防署 ☎08477・2・4005

春季全国火災予防運動が
始まります

3月1日(水)～7日(火)

市内では毎年、農繁期が始まる3月・4月に、たき火を原因とした火災が集まって発生しています。

春先は空気が乾燥し、風も強くなるため、いったん火災が発生すると広範囲に燃え広がる恐れがあります。火災を起こさないために、次のことに注意しましょう。

火災予防のポイント

- 火をつけたら完全に消えるまで目を離さず、その場を離れない。
- 水バケツなどの消火用具を必ず準備する。
- 空気が乾燥しているときや風の強い日には屋外で火を使用しない。



2022年度全国統一防火標語
「お出かけは

マスク戸締り
火の用心」

空き家の火災にご注意を！

令和4年に総務省消防庁が発表したデータによると、令和3年中の全国の総出火件数は3万5222件で、そのうち3888件(約11%)が放火および放火の疑いによるものです。その中でも空き家は、人の気配が感じられないため、放火の被害を受けやすくなっています。

また空き家の周辺は整備が行き届きにくく、たき火などを行った際は、周囲の枯れ草に燃え広がり、空き家へ燃え移ることもあります。

遠方から帰省し、空き家の整理や草焼きをする人には事前の注意喚起が難しいため、近くに住む人が声掛けをするなど、火災の未然防止にご協力をお願いします。

空き家火災を防ぐ5つのポイント

- 新聞紙、ごみ、灯油など、家の周りに燃えやすいものを置かない。
- 使用していない電化製品はコンセントから抜いておく。
- ガス器具やガス配管に異常がないかを確認する。
- 敷地内の草木を手入れする。
- 建物の近くで草焼きを行わない。

SHISEI Topics

市政トピックス

児童
福祉課

自己肯定感を育む子育て

庄原市子育て支援講演会

1月13日と14日に市役所本庁舎で庄原市子育て支援講演会を開催し、市民や子育て支援者、77人が参加しました。

子育て支援講演会は、子育てをしていく中で子どもの発達に気がなったり、育てにくさを感じたりしている保護者などを対象に、育児に対する不安の軽減を図り、子育てに対して自信と楽しさを持つてもらおうことを目的に、毎年開催しています。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインでの開催となりました。

本年度は、日本相談支援専門員協会顧問の福岡寿(ふくおかひさひさ)さんを講師に、「発達障害の子が居る保育園等のクラスづくりと対応」「子どもの成長のために親や地域ができること」と題して、講演を行いました。

福岡さんは、長年全国の保育所への巡回相談や相談支援などに携わっており、テンポがよく楽しい話し方から「福祉界の吉本興業」と呼ばれています。

講演会では、保育士や周りの大人が子どもに



講演の様子

対して何でもしてあげるのでなく、立ち振る舞いを見せることで、子どもたちが主体的に動けるようなクラス集団をつくるのが重要であること。また、子どもが自分の発達特性を自覚でき、自己肯定感を持てるようにしていくことが大切であるという話がありました。

講演終了後、参加者からは「発達特性があったとしても適応障害にせず、環境を整えるという言葉が、とても心に落ちた」「発達障害をより理解することが必要だと感じました」という感想が寄せられました。